

Makita

取扱説明書

充電式 リンスクリーナ

モデル PE001G



このたびは充電式リンスクリーナをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



もくじ

はじめに

主要機能	2
安全上のご注意	3
各部名称	16
標準付属品の確認	17
別販売品のご紹介	18
その他	19

ご使用前の準備

バッテリーの充電	20
バッテリー/充電器の取り扱い	22
使用前に知っておいていただきたいこと	23

使い方

バッテリーの取り付け/取りはずし方法	26
ホースの取り付け/取りはずし方法	28
ノズルの取り付け/取りはずし方法	30
本製品の操作	32
・洗浄水の補充	32
・スイッチの操作	34
・吸引モードの切替	35
・洗浄作業	36
・汚水の捨て方	38
使用後の取り扱い	40
・本製品のお手入れ	40
・本製品の保管	45

保守/点検

保守	47
故障かな?と思ったら	51

はじめに

主要機能

主要機能 \ モデル	PE001G
電動機	吸引：DC ブラシレスモータ ポンプ：直流マグネットモータ
使用可能バッテリー	リチウムイオンバッテリー 「別販売品のご紹介」を参照ください。
電圧	直流 36 V (40 V max) ※ 1
洗浄水吐出圧力	0.16 MPa
洗浄水最大吐出圧力	0.28 MPa
洗浄水吐出量	0.5 L/min
最大風量	1.0 m ³ /min ※ 2
最大真空度	26 kPa ※ 2
洗浄水許容温度	50 °C
洗浄水タンク容量	5.0 L
回収タンク容量	5.0 L
防じん・防水保護等級	IPX4

※ 1：40 V max は満充電時のバッテリー電圧を表しています。

※ 2：ホース装着時

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

製品の質量および寸法

装着バッテリー	質量※	本製品寸法※ 長さ×幅×高さ
BL4020	8.8 kg	471 mm × 312 mm × 398 mm
BL4080F	10.0 kg	

※ホース、ノズルを含まない

1 回の充電での作業量（参考値）

- ・ 数値は参考値です。

使用バッテリー	吸引モード	連続作業時間
BL4080F	2（強）	約 43 分
BL4080H	1（弱）	約 80 分

安全上のご注意

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）の電動工具を示します。

注意文の  **警告** ・  **注意** ・  **注** の意味について

ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

充電式製品共通の安全上のご注意

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ バッテリーを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 本製品を無理に押しつせず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。
8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

⚠ 警告

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 充電工具から離れるとき
 - ・ 本製品の受け渡し
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

⚠ 警告

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・ スwitchがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。
2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・ バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・ 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

⚠ 警告

14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。
17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
- ＜異常・故障例＞
- ・ 本製品やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 本製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
 - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
 - ・ 誤動作や故障する恐れがあります。

⚠ 警告

12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式リンスクリーナの安全上のご注意

先に充電工具としての共通の注意事項を述べましたが、充電式リンスクリーナとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって充電式リンスクリーナとその操作を理解した方以外、および子供には使用させないでください。
2. 本製品はカーペットなどの布製品の洗浄を目的としています。乾式清掃など、上記の目的以外には、使用しないでください。
 - ・ 目的以外で使用されますと、事故やけがの原因になります。
3. 人や動物を掃除するために本製品を使用しないでください。
4. 作業中はマスク、保護メガネ、ゴム手袋、長靴、長袖長ズボンなどの保護具を着用し、肌を露出しないようにしてください。
 - ・ 使用する洗浄剤や洗浄するよごれによっては、直接触れるとけがの原因になります。
5. 以下のものは吸わせないでください。

引火性物質

- ・ 油類（灯油・ガソリンなど）
- ・ 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
- ・ マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
- ・ トナーなどの可燃物
- ・ 塗料
- ・ 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
- ・ 可燃性ガス（スプレーなど）

爆発性物質

- ・ ニトログリセリンなど

発火性物質

- ・ アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

鋭利なもの（ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピンなど）
 固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）

除湿剤

大量の粉末（小麦粉、消火器の粉など）

人体に有害な物質（アスベストなど）、中毒症状を起こす物質

リンスクリーナ用洗浄剤以外の薬品類

動物などの排泄物、吐しゃ物

6. 排気口をふさがないでください。
 - ・ モーターが焼損し、火災の原因になります。
7. 転倒などによる本製品の変形、破損防止のため、本製品は静かに移動してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 警告

8. 本製品を倒したり、横倒したりした状態で使用しないでください。
 - ・ 感電や故障の原因になります。
9. 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
10. 充電器の電源プラグ、電源コンセントなどに水がかからないようにしてください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
11. 濡れた手でバッテリーや充電器の電源プラグ、電源コンセントに触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
12. 電気製品（本製品を含む）には洗淨水を噴霧しないでください。
 - ・ 感電や故障の原因になります。
13. 本製品から泡や液体が漏れ出た場合は、直ちに電源を切ってください。
14. 洗淨剤の付いた手でバッテリーを触らないでください。
 - ・ バッテリーが破損する可能性があります。
15. 洗淨水や洗淨するよごれが、目に入った、誤飲した場合は、すぐに水で十分に洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。
16. 製品が破損している場合は、使用を控えてください。
17. 不安定な場所に本製品を置かないでください。
18. 不安定な場所、姿勢で作業しないでください。
19. 洗淨剤の使用に当たっては、洗淨剤の説明書をよく読み、使用方法について熟知してください。
20. 洗淨剤が皮膚についたときは、直ちに水でよく洗ってください。
21. 洗淨水タンクおよび回収タンクのフタは、液が漏れないようしっかり締めてください。
22. 可燃性液体（塗料・シンナー・ガソリン・ベンジンなど）や不適当な液体（強酸性の薬剤など）は絶対に洗淨水タンクに入れないでください。
 - ・ 火災や事故、けがの原因になります。
23. 洗淨剤を使用する場合は、リンスクリーナ用の洗淨剤を使用してください。
 - ・ メーカー推奨の希釈量でご使用ください。ただし、希釈後の pH が 5 ～ 10 の場合に限ります。
24. 作業中、ホースなどに足が引っ掛からないようにしてください。
25. 正しいホースおよびノズルを使用してください。
 - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されているホース、ノズルアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
26. 作業をする場合には必ずバッテリーカバーを閉めてください。
27. 着用したままの衣類や靴などを洗淨したり、対象物を手で保持しないでください。
28. ノズルのトリガを握った状態に固定しないでください。

⚠ 警告

29. ノズルの噴射口を人や動物に向けないでください。
 - ・ けがの原因になります。
30. 作業中は、人や動物を近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
31. ホースの定期点検を行ってください。また、ホースに損傷や亀裂、変形がないことをよく点検してください。損傷や亀裂、変形のあるホースは使わずに新しいホースをお使いください。
 - ・ 損傷や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 吸込口を長時間完全にふさいで運転しないでください。
 - ・ 過熱による本製品の変形の原因になります。
2. 火気に近づけないでください。
 - ・ 本製品の変形の原因になります。
3. 本製品上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。
 - ・ 転倒するなどけがの原因になります。
4. 本製品上面を作業台として使わないでください。
 - ・ 本製品に載せたものが落ちて、破損する恐れがあります。
5. 運搬の際は、製品の重量にご注意ください。
6. 運搬の際は、回収タンクの水量が少量であることを確認するか、回収タンクの水を捨ててください。
7. 本製品を雨にさらさないでください。
8. 気温または液温が 0 度以下での使用、保管はしないでください。
 - ・ 製品が凍結して故障する恐れがあります。
9. 電源を入れたまま放置しないでください。
10. 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ ストレーナやフィルタ、スポンジをはずしたまま使用しないでください。
11. 使用する前にストレーナやフィルタ、スポンジ、ノズル、ノズルチップがつまっていないか確認をしてください。
12. 使用前に接続部のゆるみがないこと、ネジのゆるみや欠落した部品などがないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないことなど、各部に異常がないことを確認してください。
 - ・ 事故やけがの原因になります。
13. 洗浄剤を選ぶ際には使用方法、効果を対象物に合わせて適切な洗浄剤を選択してください。
14. 洗浄剤は必ずメーカー推奨倍率に希釈してから洗浄水タンクに入れてください。
15. 洗浄剤は、子供の手の届かないような場所に保管してください。
16. 洗浄剤使用後は、製品本体は拭き取り、取りはずし可能な部品は水洗いをしてください。
 - ・ 洗浄剤により、本製品が劣化する恐れがあります。

⚠ 注意

- 17.換気を十分にしてお作業してください。
- 18.洗浄後の水分は可能な限り回収してください。
 - ・ 厚みのある布製品の場合、奥まで洗浄水を染み込ませてしまうと回収しきれず、カビや臭いが発生する恐れがあります。
- 19.洗浄物のラベル類周辺へは、直接噴射をしないでください。
 - ・ 洗浄水により、ラベル類がはがれる原因になります。
- 20.川や池の水、砂や泥が混ざった水などは使用しないでください。
 - ・ 故障の原因になります。
- 21.洗浄水タンクが空のままポンプを稼働させないでください。
 - ・ 故障の原因になります。
- 22.ノズルを取りはずす際は、必ず電源を切り、トリガを引いて洗浄水が出ないことを確認してください。
 - ・ 洗浄水が人や本製品にかかる恐れがあります。
- 23.ノズルを清掃する場合は、ノズルを取りはずして清掃してください。
- 24.回収タンクにたまった廃液、洗浄水および本製品を洗浄した排水は各自治体の指示に従い適切に処理してください。
- 25.作業終了後は機材を清水にて洗浄し、水を抜いて完全に乾かしてください。その後、屋内の直射日光が当たらず、凍結しない、子供の手の届かない場所に保管してください。

IP 表示について（防じん・防水性能）

IP 表示は IEC 国際規格により規定される電気機器への粉じんや水の侵入に対する保護等級を表します。

保護等級の分類と内容はつぎの通りです。

IP X 4

有害な影響を伴う水の侵入に対する保護等級（防水）

保護等級	内容
4	あらゆる方向からの水の飛沫に対して保護されている。

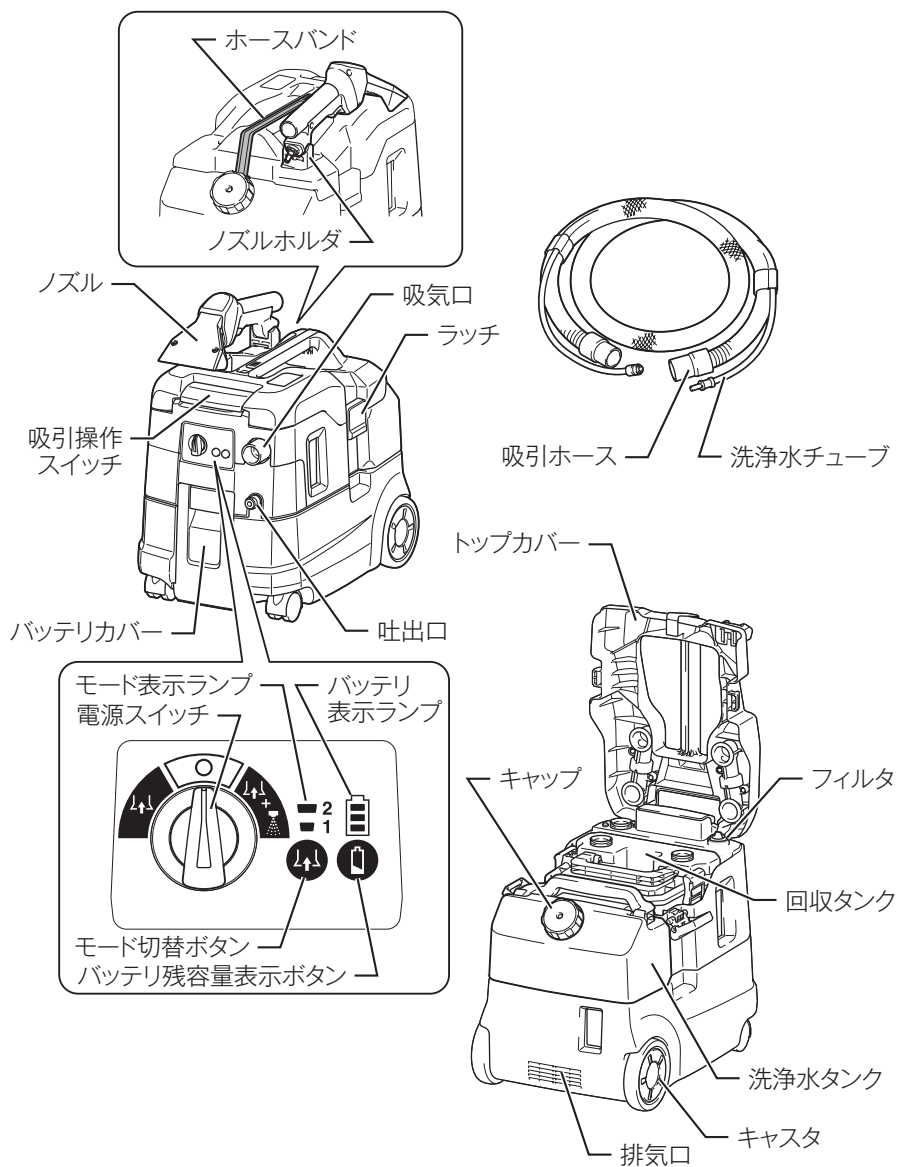
外来固形物の侵入に対する保護等級（防じん）

保護等級	内容
X	規定しない。

注

- IP 表示をしている製品は粉じんや水による影響を受けにくいように設計されていますが、故障しないことを保証するものではありません。過度な粉じんのあるところ、水中や雨の中での使用、放置はしないでください。
- 工具体体にバッテリーを装着した状態で、IEC 国際規格に規定された保護等級に適合しております。

各部名称



標準付属品の確認

標準付属品	モデル	PE001GZ
バッテリー		×
充電器		×
ホースコンプリート		○
ノズルアッセンブリ		○

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ ノズルアッセンブリセット品 ※
部品番号：A-00681
- ・ ホースコンプリート 32-2.5 セット品 ※
部品番号：A-00697

※：標準付属品

バッテリーおよび充電器

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリー (容量／セル数)	◎ BL4020 (2.0 Ah/10 本)	A-75823
	◎ BL4025 (2.5 Ah/10 本)	A-69923
	◎ BL4040 (4.0 Ah/10 本)	A-69939
	◎ BL4040F (4.0 Ah/10 本)	A-73841
	◎ BL4050F (5.0 Ah/20 本)	A-72372
	◎ BL4080F (8.0 Ah/20 本)	A-73368
	◎ BL4080H (8.0 Ah/20 本)	A-77263
対応充電器	DC40RA (急速充電器)	JPADC40RA
	DC40RB (2 口急速充電器)	JPADC40RB
	DC40WA (2 口充電器)	JPADC40WA
	DC40WB (充電器)	JPADC40WB

◎：使用推奨バッテリー

- ・ ADP10 充電器用互換アダプタ
部品番号：A-69967
充電器 DC40RA または DC40RB に取り付けることでマキタ 14.4 V/
18 V バッテリーの充電が可能になるアダプタです。

その他

シンボルマークについて

- ・ 注意ラベル上にシンボルマークを表記しております。このシンボルマークの意味をご理解の上ご使用ください。

	・ 洗淨水がついた手でバッテリーに触れないでください。
	・ 本製品上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。

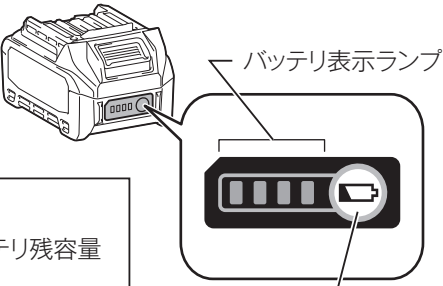
ご使用前の準備

バッテリーの充電

- ・ バッテリーは別販売品です。

バッテリー残容量表示

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



The diagram shows a camera with its battery compartment open. A callout points to the battery level indicator, which consists of four vertical bars. Another callout points to the check button, which is a small circular button with a battery icon. The label 'バッテリー表示ランプ' (Battery level indicator) points to the four bars, and the label 'チェックボタン' (Check button) points to the circular button.

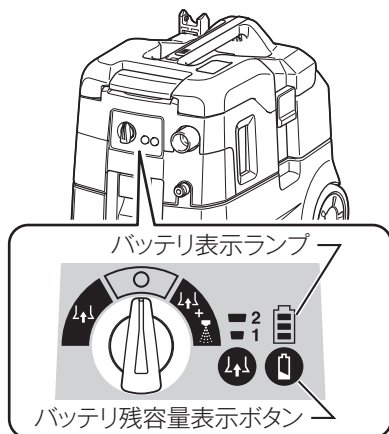
バッテリー表示ランプ				バッテリー残容量
■:点灯	▨:点滅	□:消灯		
■	■	■	■	75 % - 100 %
■	■	■	□	50 % - 75 %
■	■	□	□	25 % - 50 %
■	□	□	□	0 % - 25 %
▨	□	□	□	充電してください。
■	■	□	□	バッテリーの異常 です。
□	□	■	■	

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端のバッテリー表示ランプが点滅します。

本製品のバッテリー残容量表示機能

- 電源スイッチの位置にかかわらず、運転開始時またはバッテリー残容量表示ボタンを押したときにバッテリー表示ランプがバッテリーの残容量を数秒間表示します。



バッテリー表示ランプ	
■:点灯 □:消灯 ▨:点滅	バッテリー残容量
	50 % - 100 %
	20 % - 50 %
	0 % - 20 %
	充電してください

バッテリーの充電方法

- お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

バッテリー／充電器の取り扱い

- ・ バッテリー、充電器は別販売品です。

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管方法

- ・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って実施してください。

使用前に知っておいていただきたいこと

事前清掃

⚠ 注意

本製品は湿式専用です。乾いたゴミやホコリなどは吸い込まないでください。

- ・ 故障の原因になります。

- ・ 本製品の使用前にゴミやホコリを除去します。

洗浄剤について

⚠ 警告

洗浄剤を使用する場合は、以下の事項を順守してください。

- ・ リンスクリーナ用の洗浄剤を使用してください。
- ・ 洗浄剤メーカーが定める使用方法に従ってください。
- ・ 泡立ちを抑えるため、低発泡性の洗浄剤、または消泡剤を使用してください。
- ・ 別の容器で希釈した後、洗浄水タンクに入れてください。

バッテリーに洗浄剤が付着するとバッテリーが破損する可能性があります。洗浄剤を扱う場合はバッテリーに付着させないよう注意してください。

⚠ 注意

洗浄剤を使用する場合は、目立たない部分で素材への影響がないことを事前に確認してください。

- ・ 色落ちや変質・変形する可能性があります。

- ・ 希釈後の pH が 5 ～ 10 のリンスクリーナ用洗浄剤が使用できます。

運搬方法

⚠ 警告

本製品を運搬する際は、必ず電源を切ってください。

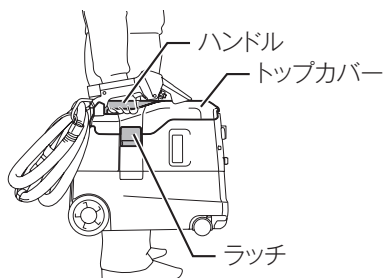
本製品を運搬する際は、必ずトップカバーをラッチで固定し、ハンドルを使用してください。

- ・ 本製品が落下してけがをしたり、本製品が破損したりする恐れがあります。

- ・ ハンドルを持って運搬できます。

注

- ・ 運搬の際は、回収タンクの水量が少量であることを確認するか、回収タンクの水を捨ててください。
- ・ 回収タンク内に水が多く入った状態で運搬すると、本製品内部への浸水や吸気口から逆流する恐れがあります。



自動吸込み停止機能について

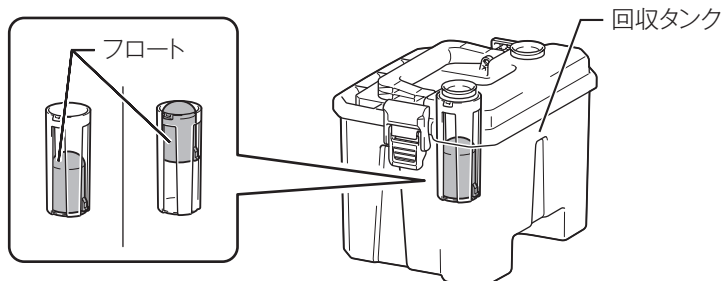
⚠ 警告

泡や石けん水などの泡立つ液体は吸い込まないでください。吸う場合は低発泡性の洗浄剤か、消泡剤を使用してください。

- ・ フロートが動く前に空気の出から泡が吹き出します。このまま使用すると感電や故障の原因になります。

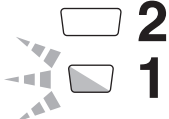
使用前に、フロートがスムーズに動くことを確認してください。

- ・ 本製品には、モータ内への水の侵入を防ぐ自動吸込み停止機能があります。回収タンクに水が一定量たまると、フロートが浮上して空気の出をふさぎ、本製品が自動で停止します。
- ・ 回収タンクがいっぱいになり、水を吸い込まない場合は速やかにスイッチを切り、回収タンクの水を捨ててください。



本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中、下記の状態になると本製品は自動的に停止しますが、これは保護機能によるものです。

表示ランプ  :点灯  :消灯  :点滅	保護機能
バッテリー表示：1 灯点滅 	・ バッテリーの容量が少なくなるか、バッテリーが高温になると本製品は自動的に停止します。 ・ 使用を中断して本製品からバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。
モード表示：1 灯点滅 	・ ポンプが 10 分間連続で駆動すると、本製品は自動的に停止します。(洗浄水タンクが空の状態では電源スイッチが「+」の場合)
モード表示：2 灯点滅 	・ フィルタやホース、ノズルに異物がつまるなど、正常でない状態になると本製品は自動的に停止します。 ・ 一旦スイッチを切り本製品からバッテリーを取りはずした後、つまりの原因などを取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。
	・ 回収タンクがいっぱいになると本製品は自動的に停止します。 ・ 一旦スイッチを切り本製品からバッテリーを取りはずした後、回収タンクの水を捨ててください。
	・ 本製品が高温になると本製品は自動的に停止します。 ・ 使用を中断して本製品からバッテリーを取りはずし、本製品を冷ましてください。 ・ フィルタやホース、ノズルのつまりも、異常発熱の原因になります。つまりの原因を取り除いてください。

- ・ 上記以外の症状で停止した場合は、「故障かな?と思ったら」(51 ページ参照)に従って点検してください。

バッテリーの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

バッテリーを取り付けるときは、本製品の溝に合わせ、奥まで挿入してください。バッテリーを差し込んだ際に「カチッ」と音がしていない場合は完全にロックされていません。本製品のバッテリー差し込み口に「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。

・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

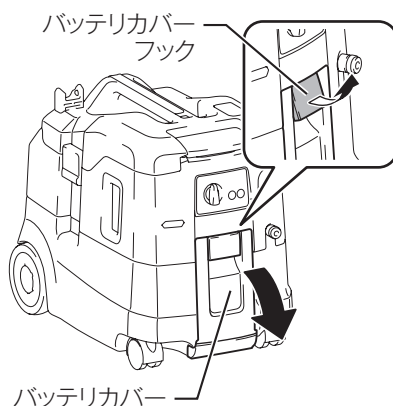
バッテリーの着脱の際は指を挟まないよう注意してください。

洗剤がついた手でバッテリーに触れないでください。

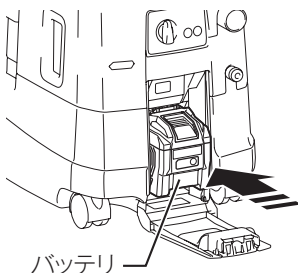
バッテリーの着脱後は必ずバッテリーカバーを閉めてください。

■ 取り付け方

1. バッテリーカバーを開きます。



2. バッテリーを本製品の溝に沿わせて、カチッと音がするまで差し込みます。

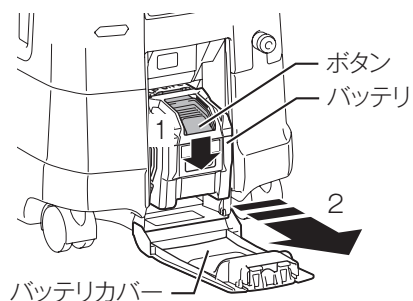


3. バッテリーカバーを閉じます。

※イラストはBL4080Fの取り付け例。

■ 取りはずし方

1. バッテリーカバーを開きます。
2. ボタンを押しながら、バッテリーを手前に引き出します。
3. バッテリーカバーを閉じます。



注

- ・ バッテリーカバーの開閉時やバッテリーの挿入時に、指をはさまないように注意してください。

ホースの取り付け / 取りはずし方法

⚠ 警告

付属品の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、本製品からバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本製品に挿し込んだままおこなうと、事故の原因になります。

⚠ 注意

ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、ホースを引っ張って本製品を移動させたりしないでください。

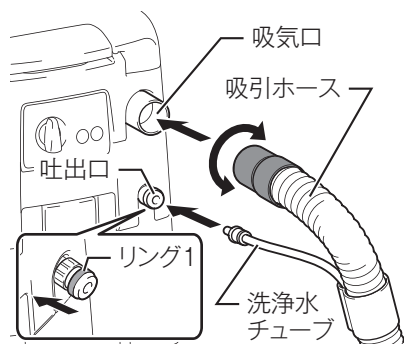
- ・ ホースの変形や破損などの原因になります。

吸引ホース、ノズルは使用中に抜けないように、ねじりながらしっかりと挿し込んで取り付けてください。

ホースコンプリートは吸引ホースと洗浄水チューブが一体になっていますが、それぞれ取り付け / 取りはずしが必要です。

■ 取り付け方

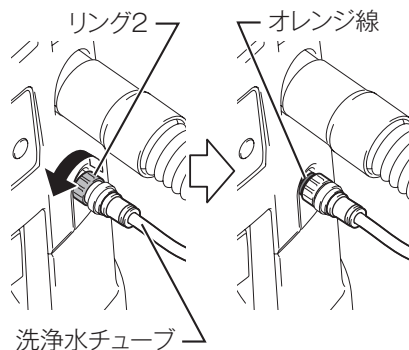
1. 製品本体の吸気口に吸引ホース（黒色側）をねじ込みます。
 - ・ 吸引ホースが抜けないことを確認してください。
2. 洗浄水チューブを製品本体の吐出口に挿し込んで接続します。
 - ・ まっすぐ「カチッ」と音がするまでしっかり挿し込んでください。
 - ・ 洗浄水チューブが抜けないことを確認してください。
 - ・ 斜めに洗浄水チューブを挿入すると奥まで挿し込めないことがあります。その場合はリング1を製品本体側に押し、挿入し直してください。



3. 吐出口のリング 2 を図の方向に回してロックします。
- ・ ロック状態ではオレンジ線が見えます。

注

- ・ 作動テストを行ってから出荷しているため、水分が残っている場合があります。



■ 取りはずし方

⚠ 注意

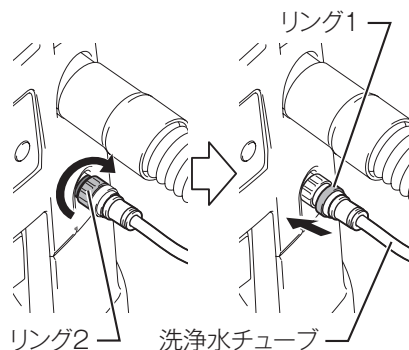
- 洗浄水チューブを取りはずす前に、電源スイッチを「OFF (O)」にし、トリガを引いて洗浄水チューブ内の圧力を抜いてください。
- ・ 破損の原因になります。

吸引ホース

取り付け方と逆の要領で取りはずします。

洗浄水チューブ

リング 2 のロックを解除します。その後、リング 1 を製品本体側に押しながら洗浄水チューブを吐出口から引き抜きます。



ノズルの取り付け / 取りはずし方法

⚠ 警告

付属品の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、本製品からバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本製品に挿し込んだままおこなうと、事故の原因になります。

⚠ 注意

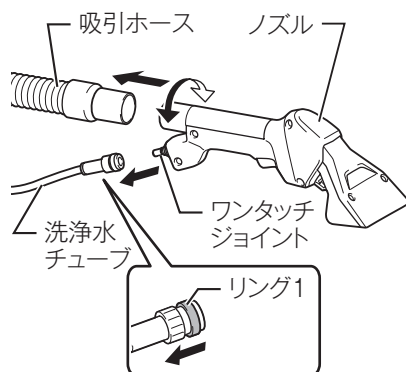
ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、ホースを引っ張って本製品を移動させたりしないでください。

- ・ ホースの変形や破損などの原因になります。

吸引ホース、ノズルは使用中に抜けないように、ねじりながらしっかりと挿し込んで取り付けてください。

■ 取り付け方

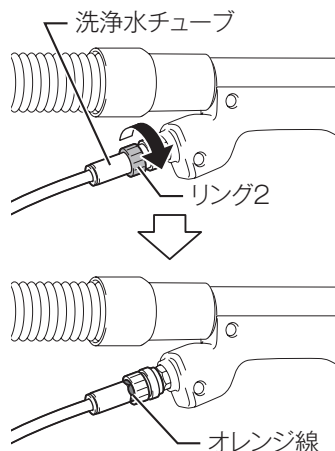
1. ノズルを吸引ホース（灰色側）にねじ込みます。
 - ・ ノズルを引っ張って、抜けないことを確認してください。
2. 洗浄水チューブをノズルのワンタッチジョイントに挿し込んで接続します。
 - ・ まっすぐ「カチッ」と音がするまでしっかり挿し込んでください。
 - ・ 洗浄水チューブが抜けないことを確認してください。
 - ・ 斜めに洗浄水チューブを挿入すると奥まで挿し込めないことがあります。その場合はリング1を洗浄水チューブ側に引き、挿入し直してください。



3. 洗浄水チューブのリング2を図の向きに回してロックします。ロック状態ではオレンジ線が見えます。

注

- ・ 作動テストを行ってから出荷しているため、水分が残っている場合があります。



■ 取りはずし方

⚠ 注意

洗浄水チューブを取りはずす前に、電源スイッチを「OFF (O)」にし、トリガを引いて洗浄水チューブ内の圧力を抜いてください。

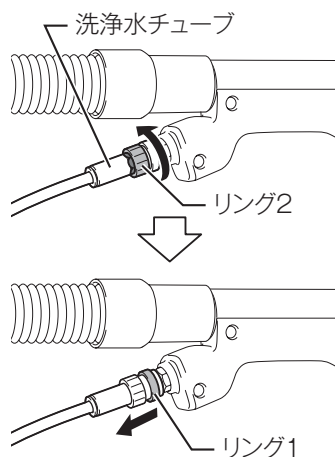
- ・ 破損の原因になります。

吸引ホース

取り付け方と逆の要領で取りはずします。

洗浄水チューブ

リング2のロックを解除します。その後、リング1を洗浄水チューブ側に引いて取りはずします。



本製品の操作

洗浄水の補充

⚠ 警告

洗浄剤を使用する場合は 23 ページの「洗浄剤について」の内容を確認してください。

電源を切った状態で給水してください。

トップカバーを開閉する際は指を挟まないよう注意してください。

洗浄水タンクを着脱する際は、指を挟まないよう注意してください。

洗浄水を補充する際は、洗浄水タンク底部のキャップが確実に締まっていることを確認してください。

洗浄水の補充後は、キャップを確実に締めてください。

⚠ 注意

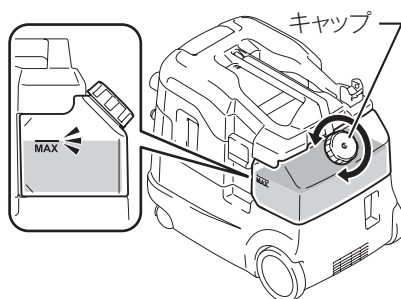
洗浄水を補充する際は、ゴミや異物が混入しないよう注意してください。

洗浄水を補充する際は、タンクの投入口から洗浄水をこぼさないよう注意してください。

50℃以上の洗浄水は使用しないでください。

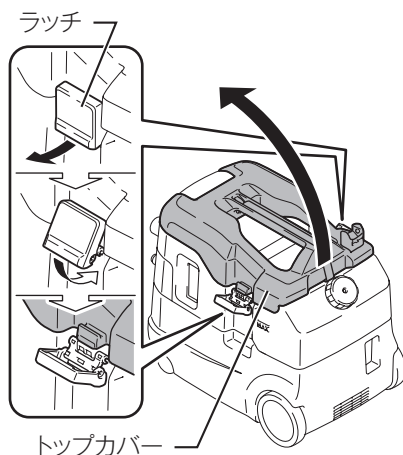
■ 洗浄水タンクを取り付けたまま給水する

1. 洗浄水タンクのキャップを開けます。
2. 洗浄水を入れます。
 - ・「MAX」を超えないようにしてください。
3. 洗浄水タンクのキャップを閉めます。



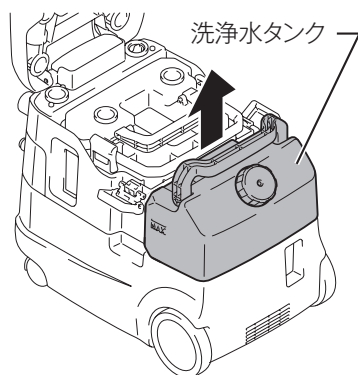
■ 洗浄水タンクを取りはずして給水する

1. 本製品上部のラッチをはずします。



2. トップカバーを開いて、洗浄水タンクを引き抜きます。

3. 洗浄水タンクのキャップを開けます。

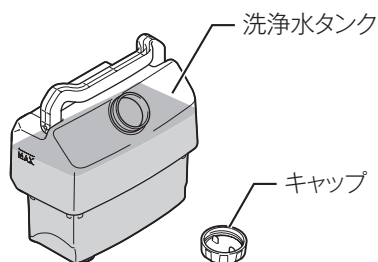


4. 洗浄水を入れます。
・「MAX」を超えないようにしてください。

5. 洗浄水タンクのキャップを締めます。

6. 洗浄水タンクを製品本体に挿し込みます。

7. トップカバーを閉めてラッチで固定します。



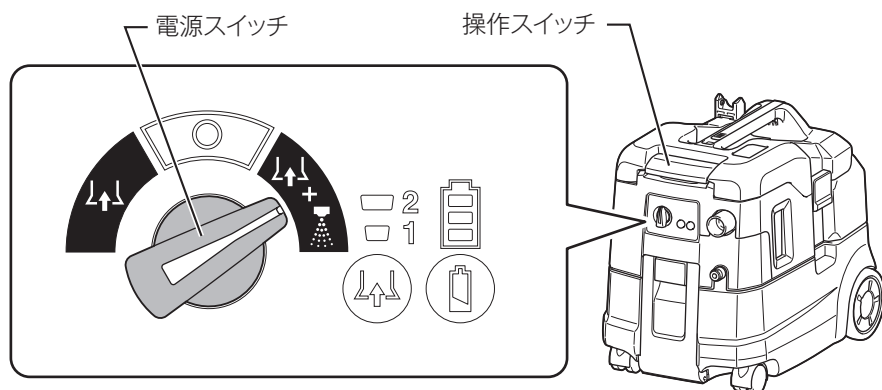
スイッチの操作

⚠ 警告

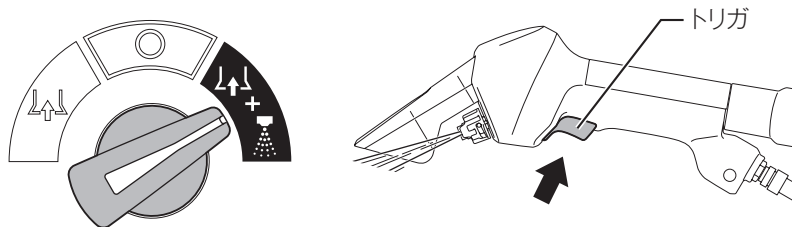
本製品にバッテリーを差し込む前に、電源スイッチが「OFF (O)」になっていることを必ず確認してください。

アイコン	作業内容
	吸引のみ
	吸引と洗浄水の吐出

1. 電源スイッチを「」または「」の位置にして電源を入れます。
・「OFF (O)」の位置にすると、電源が切れます。
2. 操作スイッチを押すと吸引が始まり、再び押すと停止します。



電源スイッチが「+」のときは、ノズルのトリガを引くと洗浄水が噴射します。



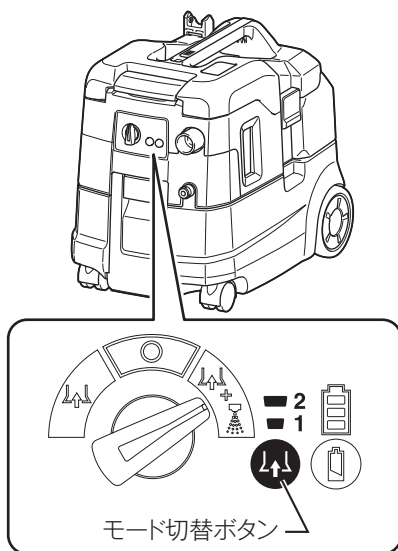
注

- 電源を切った状態でも洗浄水チューブ内に洗浄水が残っている場合、トリガを引くと洗浄水が出ることがあります。

吸引モードの切替

本製品は吸引力を2段階で切り替えることができます。

- 製品本体のモード切替ボタンを押すと吸引力が切り替わります。



洗浄作業

⚠ 注意

洗浄箇所に着着しているゴミやホコリを事前に取り除いてください。

- ・ 故障の原因になります。

使用前に、洗浄水タンクに洗浄水を入れてください。

使用前に、ストレーナやフィルタ、スポンジに損傷・目づまりはないか確認してください。

使用前に、洗浄箇所の目立たないところで素材への影響がないことを確認してください。

- ・ 色落ちや変質・変形する可能性があります。洗浄は自己責任で行ってください。

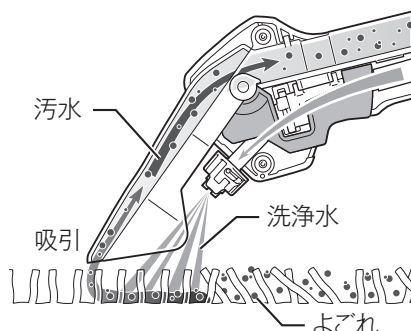
洗浄水タンクが空の状態でも5分以上ポンプを駆動しないでください。

- ・ 故障の原因になります。

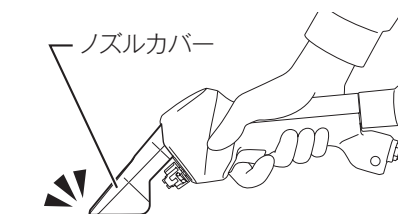
換気を十分にしてお作業してください。

作業終了後は、必ずノズル、ホース、洗浄水タンクおよび回収タンクを洗浄してください。

- ・ 本製品は洗浄水と共に汚れを吸引することで布製品を洗浄します。



1. ノズルカバーの先端を洗浄する箇所にしっかりあてます。



2. 製品本体の吸引操作スイッチを押します。

吸引操作スイッチ



3. ノズルのトリガを引きながら手前に引きます。
 - ・ よごれがひどい場合は、事前に洗浄水を散布して浸透させることで、よごれが取りやすくなります。



4. 洗浄する箇所に水分が多く残っている場合は、トリガを引かずに吸引を繰り返します。
 - ・ 吸引のみの場合は電源スイッチが「」の状態でも使用できます。

汚水の捨て方

⚠ 警告

汚水を捨てる際は、必ず電源スイッチを「OFF (O)」にしてバッテリーを抜いてください。

・ 本製品が作動し、事故の原因になります。

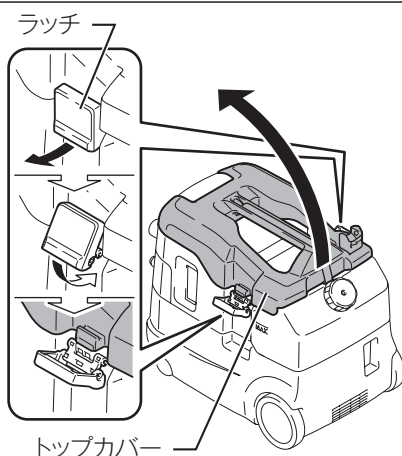
トップカバーを開閉する際は指を挟まないよう注意してください。

回収タンクを着脱する際は、指を挟まないよう注意してください。

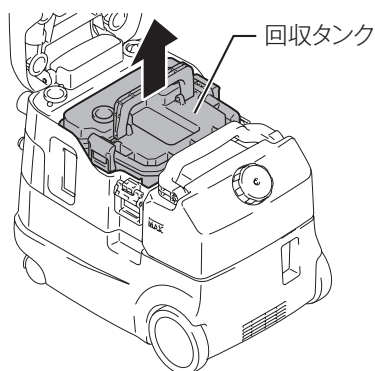
⚠ 注意

汚水の処理は各自治体の指示に従ってください。

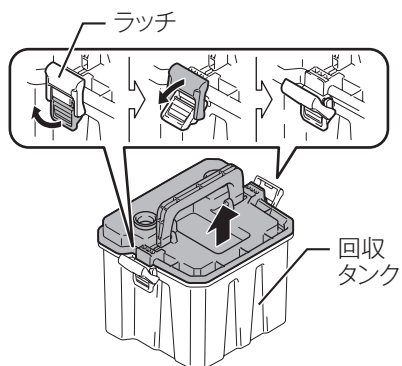
1. 本製品上部のラッチをはずします。



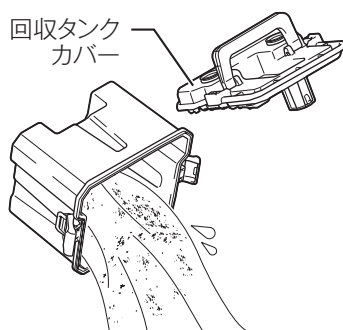
2. トップカバーを開いて、回収タンクを引き抜きます。



3. 回収タンクのラッチをはずします。



4. 回収タンクカバーをはずして、中の汚水を捨てます。



注

- ・ 汚水を捨てる際は、必ず回収タンクカバーをはずしてください。
 - ・ 回収タンクカバーをはずさずに回収タンクを傾けると、パッキンの隙間から水が漏れます。

使用後の取り扱い

本製品のお手入れ

⚠ 警告

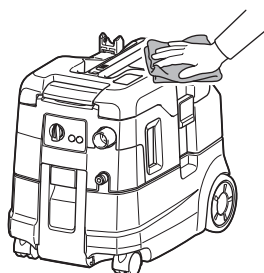
本製品のお手入れの際には、必ず電源スイッチを「OFF (O)」にしてバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

トップカバーを開閉する際は指を挟まないよう注意してください。

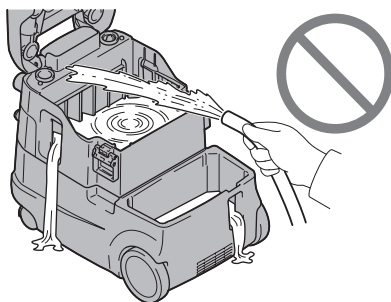
洗浄水タンク、回収タンクを着脱する際は、指を挟まないよう注意してください。

- ・ 製品本体のお手入れは、乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。



注

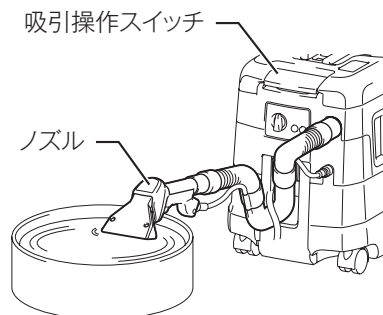
- ・ 製品本体の水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 製品内部に水が入り、故障の原因になります。



- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

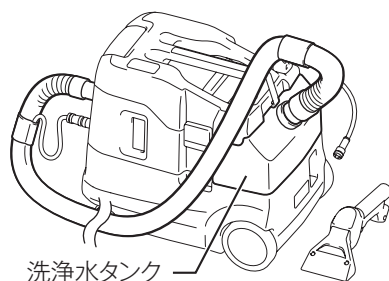
■ ノズル / ホースの洗浄

1. 電源スイッチを「 $\text{L}\uparrow\downarrow$ 」または「 $\text{L}\uparrow\downarrow + \text{L}$ 」にして電源を入れます。
2. 吸引操作スイッチを押します。
3. 水を吸引させてノズル / ホースの内部を洗浄します。



注

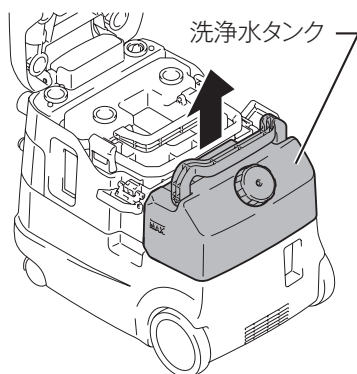
- ・ 一度に大量に吸い過ぎないで下さい。
・ 製品内部へ水が浸入したり、過負荷になったりして、故障の原因になります。
- ・ ホースだけを洗浄する場合は、ノズルを取りはずして、洗浄水タンクに挿し込むこともできます。



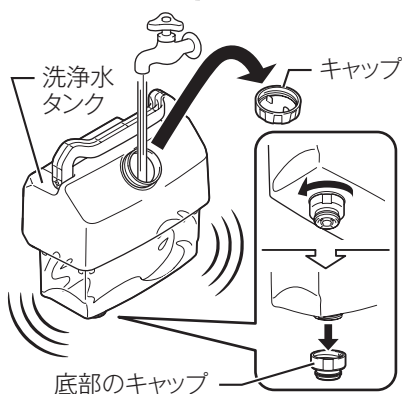
- ・ 洗浄水チューブおよび本製品内の水は電源スイッチを「 $\text{L}\uparrow\downarrow + \text{L}$ 」にしてノズルのトリガを引き、ポンプを駆動させて排出してください。
- ・ 洗浄剤を使用した場合は、流路内に残った洗浄剤成分を洗い流す必要があります。洗浄水タンクを水で洗った後、洗浄水タンクに水を少量入れ、上記と同じ手順で排出してください。

■ 洗浄水タンクの洗浄

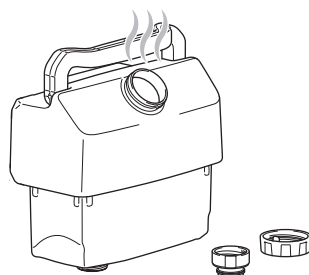
1. トップカバーを開いた状態で、洗浄水タンクを引き抜きます。



2. キャップをはずし、タンク内を空にします。
3. 洗浄水タンクの内部をきれいな水ですすぎます。
洗浄水タンク底部のキャップも取りはずすことができます。

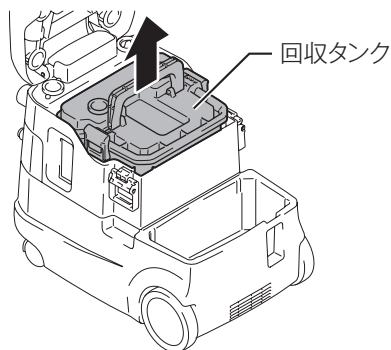


4. 洗浄後、洗浄水タンクを乾かします。

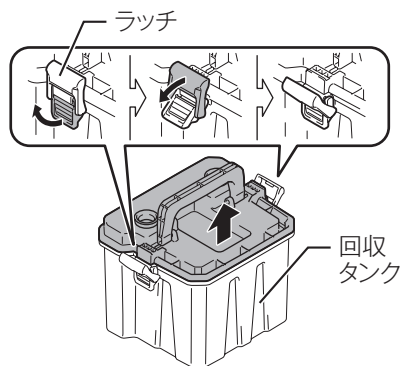


■ 回収タンクの洗浄

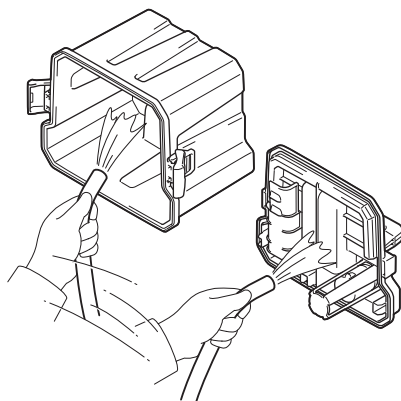
1. トップカバーを開いた状態で、回収タンクを引き抜きます。



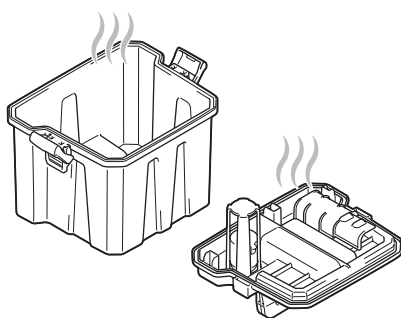
2. 回収タンクのラッチをはずして回収タンクカバーをはずします。



3. 回収タンクと回収タンクカバーをきれいな水ですすぎます。
 - ・ 回収タンクカバーのよごれがひどい場合は、分解して洗浄することも可能です。

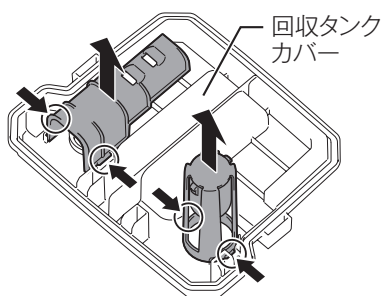


4. 洗浄後、回収タンクと回収タンクカバーを乾かします。



注

- ・ 回収タンクカバーは図に示す部品の根元を押しながら、引き抜くことで分解できます。
- ・ 回収タンクカバーの部品を分解した場合は、使用前に必ず正しく組み付けてください。
 - ・ 正しく組み付けられていないと、故障の原因となります。



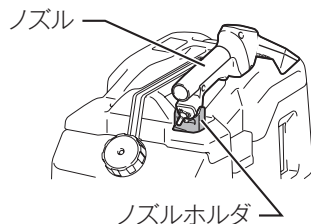
本製品の保管

⚠ 注意

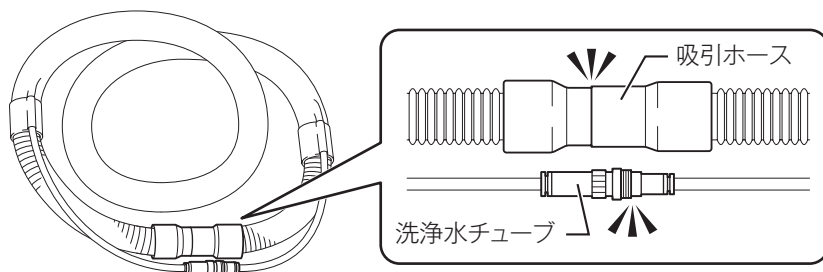
保管の前に、完全に乾かしてください。

- ・ 水分が残ったまま保管すると、カビや臭いが発生する原因になります。
- ホースバンドをホースの収納以外で使用しないでください。

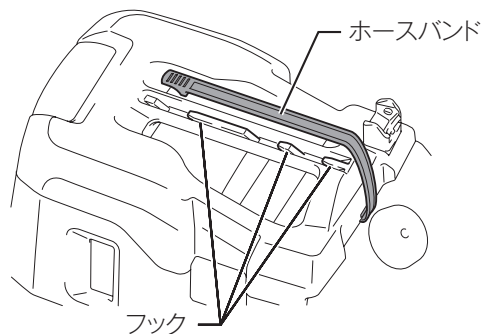
- ・ ノズルはノズルホルダに固定できます。



- ・ 吸引ホースの両端はつなげた状態で収納できます。
- つなげる前に必ず乾かしてください。

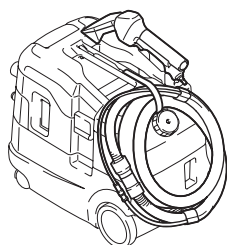


- ・ホースはホースバンドで製品本体に固定することができます。
ホースバンドはハンドル内のフックに固定します。

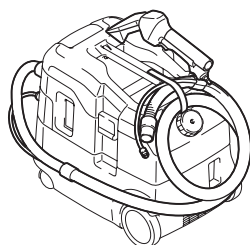


ホース固定例

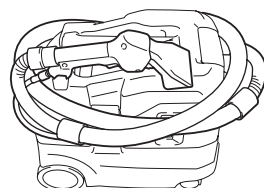
取りはずして固定



本体につないだ状態で固定



本体に巻き付けて固定



■ 保管場所について

- ・保管する際は、本製品からバッテリーを取りはずして保管してください。
次の場所には保管しないでください。
 - ×お子様の手が届いたり、持ち出せたりするところ
 - ×直射日光の当たるところ
 - ×湿気の多いところ
 - ×屋外や雨にさらされるところ
 - ×気温が 0℃以下になる場所

保守

⚠ 警告

点検、整備の際には必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

ぬれた手で作業しないでください。

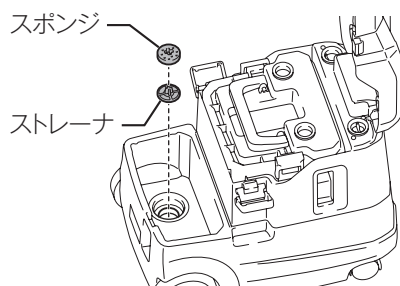
- ・ 感電やけがの原因になります。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
 - ・ 変色、変形、ひび割れの原因となります。

ストレーナおよびスポンジの清掃

- ・ ストレーナまたはスポンジがつまると洗浄水が洗浄水タンクからポンプに供給されなくなります。
- ・ 定期的につまりの原因を取り除き、水で洗い流してください。

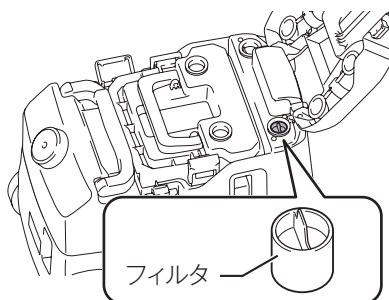


注

- ・ ストレーナとスポンジは必ず取り付けて使用してください。
 - ・ ストレーナを取り付けないと、洗浄水がポンプに供給されず、ノズルから吐出されません。また、スポンジは洗浄水タンクを抜いた際の液だれを軽減します。
- ・ ブラシ・ヘラなど硬いものでストレーナをこすらないでください。
 - ・ 破損の原因になります。
- ・ ストレーナのメッシュを破らないために、エアブロウや高圧洗浄機で掃除をしないでください。
- ・ 使用前にストレーナおよびスポンジがつまっていないか確認をしてください。

フィルタの清掃

- ・ フィルタの目づまりは吸引力を著しく低下させます。フィルタに溜まったチリやホコリはこまめに取り除いてください。
- ・ フィルタは定期的に掃除してください。
- ・ 水洗い後はフィルタを陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。



注

- ・ フィルタは必ず取り付けて使用してください。
 - ・ フィルタを取り付けずに使用すると故障の原因になります。
- ・ ブラシ・ヘラなど硬いものでフィルタをこすらないでください。
 - ・ 破損の原因になります。
- ・ フィルタのメッシュを破らないために、エアブロワや高圧洗浄機で掃除をしないでください。

ノズルチップの清掃

- ・ 洗浄水がうまく噴射されない場合はノズルチップがつまっている可能性があります。ノズルチップを取りはずし、清掃してください。

1. ノズルチップホルダを図の方向に回して取りはずします。

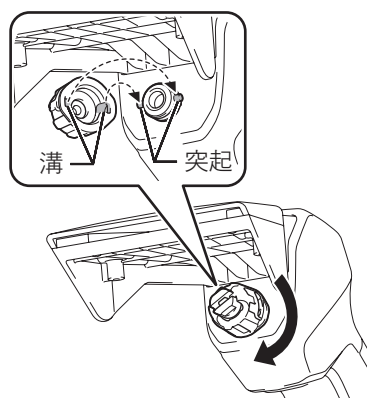
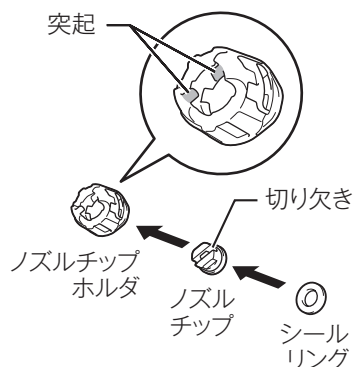
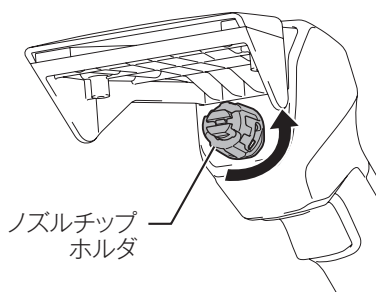
2. ノズルチップホルダからシールリングとノズルチップを取りはずして洗浄します。

ノズルチップの穴がつまっている場合は、細い針金などでつまりを取り除いてください。

3. ノズルチップホルダの突起に、ノズルチップの切り欠きを合わせて組み付けます。

4. シールリングをノズルホルダに図の方向から挿入します。

5. ノズルチップホルダの溝の位置をノズルの突起に合わせ、図の方向に回して固定します。

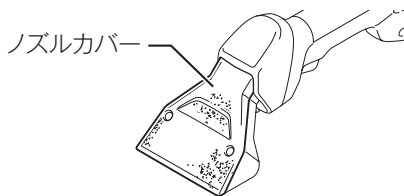


注

- ・ 洗浄水の出が悪い場合、ノズルチップがつまっていないかを確認してください。
- ・ 使用前にノズルチップにゴミなどがついていないか確認をしてください。

ノズルカバーのお手入れ

- ・ ノズルカバーの内側にゴミなどがつまっている場合は取り除いてください。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 25 ページ参照。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

881L66-9
CRE

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）